

生き直し通信

総合学習向け
スタディツアー
(日本工業大学
駒場高等学校)
の写真



※高校生にとって出所者の問題や社会問題を少しでも考えるきっかけに。



※ゴールデン街の歴史を語らせて頂きました。

現在までに11名の刑余者の受け入れ

一般社団法人生き直しでは、自立準備ホーム生き直しへ入居した方々の支援を行っております。

皆さまから頂いた会費を使い、備品や食料（お米等）を購入する代金にさせていただきます。

そして今後の女性施設開設に向けての支度金とさせていただきます。

現在、所沢で一軒家を借りる手続きをしており、5月に引き渡しがあり、自立準備ホーム設置に向けて動いております。

令和元年7月

発行：(一社)生き直し

会員数：47名

寄付支援者数：49名

*単発寄付や物資等

自立準備ホームとは

自立準備ホームは、あらかじめ保護観察所に登録された NPO 法人、社会福祉法人などが管理する施設の空室等を活用し、行先のない刑余者の帰住先・定住先を確保するための「緊急的住居確保・自立支援対策」として 2011 年度から開始された更生保護分野の制度。*平成30年4月時点で登録事業者数が395。2万人以上の出所者がいて利用者はたったの1500人という現状。



現在までに11名の刑余者が！

Mini Column② 再犯率より高いもの！

再犯率が約50%と高水準をずっと続けている中で、出所者にとって、もっと高い確率でやっていることがある。それは、「タバコ」
8割以上の出所者が出てからタバコを吸うという現状。

出てきてからお金がないのであれば、タバコは控えたほうがいいと思うが、必ずタバコを吸う。

せっかく刑務所で吸わなかったのだから、そのまま禁煙すればいいじゃないかと思うが単純には考えられない問題が潜んでいそう。



埼玉に女性専用の 自立準備ホームを！

ある方の助力で、埼玉で一軒家を借りることができました。ここで新たに女性の施設を運営しようと動きだしております。

今現在は、保護観察所に申請をしている段階です。

なので、申請が通り次第、7月中旬から下旬にオープンできればと考えております。

一人でも生き直しが難しい女性を更生すべく頑張っていこうと考えておりますので、引き続きのご支援ご協力をお願いいたします。



皆さまの
ご支援ご協力
お待ちしております

- 自立準備ホーム生き直しでは、左記のものの寄付を募集しております。
- ① 賛助会員（寄付）
 - ② お米や家に余っている食材等
 - ③ 出所後、六か月以内の出所者
 - ④ 家（1ルームでも可）



生き直し 代表
千葉龍一

女性の施設設置に向けて！

『生き直し』では、出所した男性向けの施設を運営してまいりましたが、新たに自殺率の高い出所女性を救うべく施設構築に向けて動きだしております。

安定した運営のため月額500円の寄付からあなたも一緒に「生き直せる社会の構築」に貢献してみませんか？

